

宇都宮大学第10回東日本大震災ボランティア

宇都宮大学、災害ボランティア第10弾は「こけ玉作り教室」のボランティア



▲災害ボランティア第10弾 その1

宇都宮大学では、3月30日(金)に災害ボランティア第10弾として、県内でも特に被害の大きかった矢板市の小学生を対象にこけ玉作り教室を開きました。

これは、災害などで大きなショックを受けた子どもの心の回復過程には、成人のような言葉のやりとりを通した支援より、自然体験活動と表現活動を通した非言語的療法による支援が有効と言われており、参加した子ども達はこけ玉作りを楽しみました。また、指導にあたった学生達も子ども達との交流を楽しみました。